



みなさんの夢や希望を
かたちにするのが
私の仕事です。
私はあきらめません。



◆プロフィール◆

昭和 41 年 (1966) 山口県山口市に生まれる。
高校時代に文学に興味を持ち広島大学文学部に入学 (1984)。
在学中に日本建築の美しさにひかれ卒業後専門学校で建築の基礎を学び住宅会社に就職。結婚、出産を経て子育て中は PTA 活動。その後、栗東市教育委員会の嘱託職員に。縁あって平成 30 年 (2018) に市議会議員に出馬、初当選。令和 4 年 (2022) に栗東市長選挙に挑戦するも落選。座右の銘「夢なき者に成功なし」(吉田松陰の言葉) を心に留め、常にチャレンジし続ける毎日をお過ごし。

◆後援会◆

栗東市下鉤 1184-1



Instagram



Facebook



連合滋賀 会長
白木 宏司



連合 3 区地協
議長 深草 茂



後援会 会長
堀池 昌司

私たちも応援しています





守りたい！
生かしたい！



夢をかたちに！

公共事業・公共施設を未来に 『活かす』

公共施設は私たち市民の財産です。

現在、栗東市では、環境センターの移設を始めとする大型公共事業が計画されています。ここで大切なことは、「将来、市民に負担を残さないために、建設に係る事業費が適正であるのか」また「市民の安心と幸福に繋がる施設であるのか」ということです。巨額を投じる公共事業については、企業誘致も含む財政健全を第一義とする議論が必要です。

また、老朽化が進むコミュニティセンターや児童館などの既存施設についても、子どもの人口減少を考慮しつつ、統合や複合施設化するなど、地域の多世代交流の場として再生することを提案します。

【政策提案】

公共施設長寿命化計画の見直し・地域振興に関する政策
企業誘致に係るリスク回避

こどもの未来を 『守る』

目の前の子どもたちの成長に「待った！」はありません。学校で学ぶことはもちろん、「遊ぶ」ことも子どもの成長には欠かせません。いま、引退馬を活用した運動公園の話が聞こえてきていますが、まずは、本当に市民や子どもたちが必要とする公園を造るべきです。今ある児童公園の維持管理についても、徐々に進む地域の高齢化を見据えて自治会等の負担を軽減する施策を提案します。

また、数年に亘るコロナ禍で経済格差が広がり、子どもたちの育ちに大きな影を落としています。他市への人口流出に歯止めをかけるためにも、働く世代が経済的にも安心して子育てが出来る社会を創り、子どもたちの夢や可能性を奪うことのないよう教育環境を整備していくことを私は目指します。

【政策提案】

都市計画における公園（都市公園・児童公園等）のあり方・各種スポーツ施設の精査・給食費の無償化・高等教育における奨学金の助成制度



食と農を『守り』 観光資源を『活かす』

長引くコロナ禍やウクライナ侵攻で輸出入が制限されたこともあり、国内の食料品価格が高騰しています。国は自国の食料自給率の重要性に気づきながらも、未だ大きな決断を下していません。かつて第一次産業に従事していた労働人口もさらに減少し、それに付随し農地も激減しています。本市においても、安心安全な食料を確保するために農業振興政策は必要不可欠です。

栗東の魅力は山の自然といっても過言ではありません。県の施策（シガリズム）の理念に呼応し、民間の資金やノウハウを活用することも視野に入れ、金勝山をアウトドア・農協体験等のできる観光地として活性化することや、地元の皆さんに共感とご協力がいただけるような観光を構築することが私のこれからの夢であり、仕事です。

【政策提案】

新規就農者の育成に係る市独自の助成・遊休農地対策・農産物の特産化・山の指定管理施設と観光インフラ（公衆トイレ等）の整備・九品の滝等の観光資源の磨き上げ